

JAIA 4 VOC基準適合

## 環境対応接着剤

### ダイアボンド DS167

ダイアボンドDS167は、グラスウールの接着に優れた特殊合成ゴム系のスプレー形接着剤です。

#### § 特長

1. トルエン・キシレンを使用していません。
2. 皮膜は柔軟で、風合いが良く、グラスウールをはじめ金属やプラスチックフィルムへの密着性に優れます。
3. 作業性、初期接着性に優れます。
4. 粘着性が強く、片面接着が可能です。
5. スプレーパターンが広く、ガラスクロス表面へのしみ出しが少ないです。
6. グラスウール用としては、比較的安価です。

#### § 用途

1. グラスウール相互やグラスウールとアルミ箔、クラフト紙など各種材料の接着
2. フェルトやロックウール、ウレタンフォームなどの断熱材の接着
3. その他 紙、布の接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

#### § 一般性状

主 成 分		特殊合成ゴム
外 観		黄色透明
不 揮 発 分 (%)		29.5 ± 1.5
粘 度 (mPa·s)	at20°C	50 ~ 150
指触乾燥時間 (分)	at20°C	1 ~ 3
粘着保持時間 (分)	at20°C	50 ~ 60
保 証 期 間 (月)	at25°C	12
引 火 点 (°C)		-17
発 火 点 (°C)		240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 スプレーで被着材の両方または片方に接着剤を均一に塗布します。  
塗布量は、両面塗布の場合：片面当り 100～150 g/m<sup>2</sup> (両面で 200～300 g/m<sup>2</sup>) 塗布して下さい。  
片面塗布の場合：150～300 g/m<sup>2</sup> 塗布して下さい。  
・スプレーガンの口径：2～2.5 mmφ ・エア圧：0.3～0.6 MPa
3. はり合せ 両面塗布の場合は、常温にて 5～10 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着強さ

はく離強さ (N/25mm)

		グラスウール／ガラスクロス	グラスウール／アルミクラフト
常 態	1 時間	*	*
	24 時間	*	*
熱老化	70℃×96 時間	*	*
耐 熱	60℃	*	*

\*：材質破壊

試験方法：JIS K 6854 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。

- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。